

窓口支援事例 【宮崎県 知財総合支援窓口】

企業情報

株式会社SUNAO製薬

所在地	宮崎県宮崎市		
ホームページ URL	http://www.sunao-seiyaku.com/		
設立年	2011年	業種	卸・小売業
従業員数	22人	資本金	100万円

企業概要

当社は、化粧品やサプリメント、健康食品の受託製造（OEM）を行っています。宮崎県は、温暖な気候に恵まれた美味しくカラダに優しい食材、食品の宝庫です。健康や美容は美味しくカラダに優しい『食』からというコンセプトを掲げ、宮崎の食材や食品を利用した新しい商品や素材の販売・開発を通して地域貢献を目指して活動しています。また、直販サイトとして、独自ドメインサイト「うまかサプリ」やショッピングモールサイトである楽天市場、その他、ぐるなび食市場へも「すなお食堂」として出店しております。



自社の強み

当社の強みは、通信販売、エステ、美容室、薬局・薬店など様々なジャンルのお客様との取引で蓄積してきた実績やノウハウを活用し、企画・処方設計・製造からデザインまで一貫した商品開発をサポートできる体制です。また、宮崎県や大学などの研究機関と産学官連携し、今までにない新素材の研究開発も行っております。また、商品のブランド化にも積極的に取り組んでおり、ハウスマークである「SUNAO 製薬」を含め8件の登録商標を有しています。



一押し商品

「まるごと食べ茶」は、大変人気のある商品の一つで、天皇杯を受賞した宮崎県五ヶ瀬町産の有機茶葉（有機 JAS 認定）のみを使用し、釜炒り製法によりじっくり時間を掛けて焙煎した茶葉を粉碎した、茶葉 100%の粉末緑茶です。粉末なので茶殻がでない、飲みたい時に飲みたい分だけ、ホットでもアイスでも混ぜるだけという手軽さが好評で、多数のリピーター様にご愛飲頂いております。また、楽天リアルタイムランキングで総合1位を獲得するなど高い評価を得ています（「まるごと食べ茶」：商標登録第5807034号）。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社については、以前より開発した商品に使用するネーミングの先行調査や商標の出願手続きについて支援しています。今回、企業としてのブランドイメージの向上に取り組みたいとのことから窓口にご相談に来られ、ハウスマーク（営業の同一性を表す営業標識としての社標）の出願を支援しました。

最初の相談概要

ハウスマークの役割と使用する効果について活用事例等を紹介しました。また、今後の予定を含む指定商品と指定役務の選定、特許情報プラットフォームによる先行調査を指導した結果、「SUNAO」を含む登録商標が数件確認されました。そこで、専門家（弁理士）を活用して、登録商標を踏まえた出願するハウスマークの態様について協議し、社名とロゴ+「SUNAO」の2つの商標を出願することになりました。

その後の相談概要

ロゴ+「SUNAO」の一部の指定商品について拒絶理由通知が届いたことから、専門家（弁理士）を派遣して対応について助言しました。また、社名については登録査定を受ける見通しが立ったことから、社名とロゴマークを活用した商標戦略について助言したほか、ロゴマークのみの出願についても支援しました。

窓口を活用して変わったところ

支援を通して、知的財産権に関する理解が深まり、特に商標権については、調査や出願にかかわる一連の手続きについて、自社で対応できる人材の育成に繋がったものと思います。また、知財を活用する経営的な意義も認識され、新製品や受託の相談を受けた商品名が第三者の権利を侵害しないかなど、その都度、調査されるようになりました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

通販サイトは、不特定多数のサイト訪問者の方がご覧になることから商標権の活用は大変重要であると考えています。窓口の支援で、商標の出願から権利化まで、自社で行えるようになり大変助かっています。また、知財の専門家に直接相談できることは、中小企業にとって大変ありがたい制度であると思っております。

窓口担当者から一言（氏名：轟木 博）



同社は、宮崎大学との共同研究「機能性食品の新素材開発」にも参加されておりますし、昨年開催されたビジネスプランコンテスト（宮崎商工会議所主催）で、野菜の摂取量不足を解消するための九州産乾燥野菜の活用プランで最優秀賞を受賞するなど、活躍が期待されている企業です。今後の事業拡大に向けた取り組みに際して、継続して支援させて頂きたいと思っております。

窓口支援事例 【宮崎県 知財総合支援窓口】

企業情報

株式会社SUNAO製薬

所在地	宮崎県宮崎市		
ホームページ URL	http://www.sunao-seiyaku.com/		
設立年	2011年	業種	卸・小売業
従業員数	10人	資本金	100万円

企業概要

当社は、化粧品やサプリメント、健康食品の受託製造（OEM）を行っています。宮崎県は、温暖な気候に恵まれた美味しくカラダに優しい食材、食品の宝庫です。健康や美容は美味しくカラダに優しい『食』からというコンセプトを掲げ、宮崎の食材や食品を利用した新しい商品や素材の販売・開発を通して地域貢献を目指して活動しています。また、直販サイトとして、独自ドメインサイト「うまかサプリ」やショッピングモールサイトである楽天市場、その他、ぐるなび食市場へも「すなお食堂」として出店しております。



自社の強み

当社の強みは、通信販売、エステ、美容室、薬局・薬店など様々なジャンルのお客様との取引で蓄積してきた実績やノウハウを活用し、企画・処方設計・製造からデザインまで一貫した商品開発をサポートできる体制です。また、宮崎県や大学などの研究機関と産学官連携し、今までにない新素材の研究開発も行っております。また、商品のブランド化にも積極的に取り組んでおり、ハウスマークである「SUNAO 製薬」を含め8件の登録商標を有しています。



一押し商品

「まるごと食べ茶」は、大変人気のある商品の一つで、天皇杯を受賞した宮崎県五ヶ瀬町産の有機茶葉（有機 JAS 認定）のみを使用し、釜炒り製法によりじっくり時間を掛けて焙煎した茶葉を粉碎した、茶葉 100%の粉末緑茶です。粉末なので茶殻がでない、飲みたい時に飲みたい分だけ、ホットでもアイスでも混ぜるだけという手軽さが好評で、多数のリピーター様にご愛飲頂いております。また、楽天リアルタイムランキングで総合1位を獲得するなど高い評価を得ています（「まるごと食べ茶」：商標登録第5807034号）。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社については、以前より開発した商品に使用するネーミングの先行調査や商標の出願手続きについて支援しています。今回、企業としてのブランドイメージの向上に取り組みたいとのことから窓口にご相談に来られ、ハウスマーク（営業の同一性を表す営業標識としての社標）の出願を支援しました。

最初の相談概要

ハウスマークの役割と使用する効果について活用事例等を紹介しました。また、今後の予定を含む指定商品と指定役務の選定、特許情報プラットフォームによる先行調査を指導した結果、「SUNAO」を含む登録商標が数件確認されました。そこで、専門家（弁理士）を活用して、登録商標を踏まえた出願するハウスマークの態様について協議し、社名とロゴ+「SUNAO」の2つの商標を出願することになりました。

その後の相談概要

ロゴ+「SUNAO」の一部の指定商品について拒絶理由通知が届いたことから、専門家（弁理士）を派遣して対応について助言しました。また、社名については登録査定を受ける見通しが立ったことから、社名とロゴマークを活用した商標戦略について助言したほか、ロゴマークのみの出願についても支援しました。

窓口を活用して変わったところ

支援を通して、知的財産権に関する理解が深まり、特に商標権については、調査や出願にかかわる一連の手続きについて、自社で対応できる人材の育成に繋がったものと思います。また、知財を活用する経営的な意義も認識され、新製品や受託の相談を受けた商品名が第三者の権利を侵害しないかなど、その都度、調査されるようになりました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

通販サイトは、不特定多数のサイト訪問者の方がご覧になることから商標権の活用は大変重要であると考えています。窓口の支援で、商標の出願から権利化まで、自社で行えるようになり大変助かっています。また、知財の専門家に直接相談できることは、中小企業にとって大変ありがたい制度であると思っております。

窓口担当者から一言（氏名：轟木 博）



同社は、宮崎大学との共同研究「機能性食品の新素材開発」にも参加されておりますし、昨年開催されたビジネスプランコンテスト（宮崎商工会議所主催）で、野菜の摂取量不足を解消するための九州産乾燥野菜の活用プランで最優秀賞を受賞するなど、活躍が期待されている企業です。今後の事業拡大に向けた取り組みに際して、継続して支援させて頂きたいと思っております。